

2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年1月29日

上場会社名 キムラユニティー株式会社

上場取引所

東名

コード番号 9368 URL <https://www.kimura-unity.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 成瀬 茂広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 小山 幸弘

TEL 052-962-7053

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	47,497	3.9	4,020	1.6	4,621	6.4	3,041	10.3
2025年3月期第3四半期	45,708	0.8	3,956	22.4	4,343	13.1	2,757	10.2

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 4,098百万円 (60.8%) 2025年3月期第3四半期 2,549百万円 (-40.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	73.97		
2025年3月期第3四半期	64.07		

(注)当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	66,527	43,925	63.0	1,018.57
2025年3月期	64,549	41,171	60.7	954.39

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 41,890百万円 2025年3月期 39,211百万円

(注)当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
		30.00		33.00	63.00
2026年3月期		17.00			
2026年3月期(予想)				17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年3月期及び2026年3月期(予想)については、株式分割後の内容を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,500	3.9	4,800	4.3	5,400	5.5	3,600	9.1	84.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名)

、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	47,087,600 株	2025年3月期	47,087,600 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	5,961,522 株	2025年3月期	6,002,422 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	41,109,718 株	2025年3月期3Q	43,032,718 株

(注)当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算定しております。

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P2「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

・注記事項(1)には「連結範囲の重要な変更の有無」に関する事項を記載しています。

・金融商品取引法の改正により、四半期報告書の提出はありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）における我が国の経済は雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調を維持いたしました。一方で、原材料・エネルギー価格の高止まりに加え、為替相場の変動、さらには米国の通商政策の影響により、先行き不透明な状況が続いております。海外におきましても、米国の通商政策等に加え中国経済の低迷や中東・ウクライナ情勢等の地政学的リスクの長期化等、先行きは依然として不透明な状況にあります。

また、当社グループと関係の深い自動車業界においては、国内では、生産台数に回復がみられるものの、人手不足の問題や資源価格高騰・賃金上昇等先行き不透明な状況が続いております。海外においても、米国の関税問題、EVシフトへの減速や為替の影響等、依然として先行き不透明な状況であります。

このような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、国内物流サービス事業や情報サービス事業における主要顧客からの受注量の増加及びモビリティサービス事業における車両整備事業の増収等により、売上高は47,497百万円（前年同期比3.9%増収）となりました。営業利益は、売上高の増収等により、4,020百万円（前年同期比1.6%増益）、経常利益は、持分法による投資利益の増加等により、4,621百万円（前年同期比6.4%増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は、3,041百万円（前年同期比10.3%増益）となりました。

なお、主なセグメント別の売上高（セグメント間の内部売上を含む）、営業利益の状況は次の通りであります。

①物流サービス事業

売上高は、国内包装事業及び米国子会社KIMURA, INC.の格納器具事業における主要顧客からの受注量の増加等により、33,526百万円（前年同期比3.4%増収）となりました。営業利益は、中国子会社広州広汽木村進和倉庫有限公司、天津木村進和物流有限公司における減収等の影響により、4,035百万円（前年同期比4.7%減益）となりました。

②モビリティサービス事業

売上高は、車両整備事業における受託メンテナンス契約台数の増加等により、11,046百万円（前年同期比3.0%増収）となりました。営業利益は車両整備事業の収益改善活動の効果等により、879百万円（前年同期比21.6%増益）となりました。

③情報サービス事業

売上高は、主要顧客からの受注量の増加等により、2,049百万円（前年同期比18.6%増収）となりました。営業利益は、主要顧客からの受注量増加や原価率の改善等により、256百万円（前年同期比6.1%増益）となりました。

④人材サービス事業

売上高は、市場の人材獲得競争の中、積極的な拡販活動や新規顧客の獲得に注力したこと等により、1,455百万円（前年同期比6.1%増収）となりました。営業利益は売上高の増収等により、76百万円（前年同期比510.9%増益）となりました。

⑤その他サービス事業

売上高は、売電サービスにより、35百万円（前年同期比0.2%減収）となりました。営業利益は原価率の改善等により、19百万円（前年同期比91.1%増益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末の総資産は66,527百万円となり、前連結会計年度末に比較して1,977百万円の増加となりました。その主な要因は、株価高騰に伴う投資有価証券の増加等により固定資産が2,115百万円増加したことによるものであります。

負債合計は22,602百万円となり、前連結会計年度末に比較して776百万円の減少となりました。その主な要因は、賞与引当金が1,364百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して2,753百万円増加の43,925百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.2ポイント上昇の63.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年4月28日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,187	10,281
受取手形、売掛金及び契約資産	9,205	9,767
リース投資資産	6,245	7,064
商品及び製品	342	410
仕掛品	15	1
原材料及び貯蔵品	229	301
その他	943	1,206
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,169	29,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,165	7,610
機械装置及び運搬具（純額）	747	793
賃貸資産（純額）	506	462
土地	6,881	6,866
リース資産（純額）	555	505
建設仮勘定	107	42
その他（純額）	1,759	1,525
有形固定資産合計	18,723	17,807
無形固定資産		
その他	1,250	1,285
無形固定資産合計	1,250	1,285
投資その他の資産		
投資有価証券	6,634	8,637
繰延税金資産	14	3
退職給付に係る資産	5,475	5,985
その他	3,285	3,780
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	15,406	18,403
固定資産合計	35,380	37,496
資産合計	64,549	66,527

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流动負債		
買掛金	979	1,183
短期借入金	1,162	1,595
1年内返済予定の長期借入金	–	2,000
1年内償還予定の社債	1,000	–
未払金	2,526	2,079
未払費用	3,554	3,916
リース債務	749	621
未払法人税等	719	913
賞与引当金	1,794	429
役員賞与引当金	50	20
その他	970	919
流动負債合計	13,507	13,679
固定負債		
長期借入金	2,000	–
長期未払金	3,842	4,486
リース債務	954	841
退職給付に係る負債	7	4
繰延税金負債	1,932	2,454
再評価に係る繰延税金負債	900	900
その他	234	235
固定負債合計	9,871	8,923
負債合計	23,378	22,602
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,596	3,596
資本剰余金	3,453	3,463
利益剰余金	28,504	30,169
自己株式	△3,390	△3,367
株主資本合計	32,164	33,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,155	3,401
土地再評価差額金	509	509
為替換算調整勘定	2,272	2,105
退職給付に係る調整累計額	2,108	2,012
その他の包括利益累計額合計	7,046	8,028
非支配株主持分	1,959	2,034
純資産合計	41,171	43,925
負債純資産合計	64,549	66,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	45,708	47,497
売上原価	35,927	37,590
売上総利益	9,780	9,906
販売費及び一般管理費	5,824	5,886
営業利益	3,956	4,020
営業外収益		
受取利息	84	68
受取配当金	126	138
持分法による投資利益	243	456
為替差益	18	-
その他	26	30
営業外収益合計	498	694
営業外費用		
支払利息	103	70
為替差損	-	6
その他	7	16
営業外費用合計	111	93
経常利益	4,343	4,621
特別利益		
固定資産売却益	0	11
投資有価証券売却益	-	20
特別利益合計	0	31
特別損失		
固定資産除売却損	14	64
その他	0	-
特別損失合計	14	64
税金等調整前四半期純利益	4,330	4,588
法人税、住民税及び事業税	1,286	1,386
法人税等調整額	56	10
法人税等合計	1,342	1,396
四半期純利益	2,987	3,191
非支配株主に帰属する四半期純利益	230	150
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,757	3,041

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,987	3,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△428	1,245
為替換算調整勘定	123	△476
退職給付に係る調整額	△86	△96
持分法適用会社に対する持分相当額	△46	234
その他の包括利益合計	△438	906
四半期包括利益	2,549	4,098
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,278	4,023
非支配株主に係る四半期包括利益	270	75

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,433百万円	1,526百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	モビリティサ ービス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客へ の売上高	32,413	10,687	1,728	843	45,673	35	45,708	-	45,708
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	10	36	-	527	574	-	574	△574	-
計	32,423	10,723	1,728	1,371	46,247	35	46,282	△574	45,708
セグメント 利益	4,234	722	241	12	5,212	10	5,222	△1,266	3,956

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

- セグメント利益の調整額△1,266百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,268百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。
- セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	モビリティサ ービス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客へ の売上高	33,516	11,010	2,049	886	47,462	35	47,497	-	47,497
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	9	36	-	569	615	-	615	△615	-
計	33,526	11,046	2,049	1,455	48,077	35	48,112	△615	47,497
セグメント 利益	4,035	879	256	76	5,247	19	5,267	△1,247	4,020

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

- セグメント利益の調整額△1,247百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,250百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。
- セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。